

"Cuando por fin logré escuchar el disco "El jardín de Lindaraja" que había grabado Agustín Maruri en el que se incluía mi obra "la misma luz de entonces" , supe de inmediato que había abordado el trabajo con gran seriedad puesto que, a pesar de la dificultad técnica de la pieza, ésta sonaba con la frescura, color y energía que yo había concebido. Pero la mayor sorpresa fue la imaginación y flexibilidad con la que había interpretado la obra y tanto había echado de menos en otros guitarristas. Lo curioso es que no habíamos tenido ningún contacto previo a la grabación y la interpretación fue libre y llena de intuición. Y acertó de pleno. "

Marco Smaili, Octubre de 2013.

現代ギター

GENDAI GUITAR
MAGAZINE

Vol.44 No.12 November
2010 No.559



外盤 案内

I M P O R T D I S C



リンダラハの庭 マルーリ

El Jardín de Lindaraja
Agustín Mañá (G)
EMEC E-004
スペイン盤

●このアルバムはセゴビア・ギターコンクールの作曲部門優勝作品を集めたちょっと変わったアルバム、実はこのCDをリリースしている EMEC 社から楽譜が出されている。ジャケットではなぜかほとんどが第 14 回の優勝作品になっているがこれはコピーのミス、記載年度から優勝回を想定するしかない。セゴビアは長くエラドゥーラに暮らしたが、その地で彼の名を冠したギターコンクールは 1985 年から開催されていた。作曲部門は 1988 年から開始されているが、匿名での選抜や選定者の好みもあり、優勝作品の選曲に癖があるのかもしれない（最初の優勝者であるフェルナンデス＝ガルシアは 2 回受賞している）。なお、他の優勝作品は継続して録音されるようである。アルバムタイトルに使われているモラレス＝カソの作品を含め、モダンな部分と古風なギターが混在している作品が多い。セゴビア好み(?)の耳になじみの良い作品が選ばれているのであろうか。

(リンダラハの庭～幻想曲 (モラレス＝カソ)、クロマティコ (ミゲル＝ゴンサレス)、あの時と同じ光～テナ・モントリウへのオマージュ (スマイリ・ミラス)、福説 (ファリアス＝カバリエロ)、ギターのための5つの小品 (ゾコテンリ))